

事 務 連 絡
平成 26 年 4 月 10 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 矢ヶ崎 忠夫

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について（情報提供）

このことについて、平成 26 年 4 月 8 日付け事務連絡をもって、厚生労働省健康局結核感染症課から、別添のとおり通知がありました。下記参考資料も参考にさせていただき、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、愛知県で捕獲された犬において、犬のエキノコックス症の感染が認められたとの報告があったので、本事例について、本会会員への周知とともに、「犬のエキノコックス症対策ガイドライン 2004—人のエキノコックス症予防のために—」の活用等について、周知を依頼されたものです。

記

1 「エキノコックス症の犬」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/02-06.pdf>

2 「犬のエキノコックス症対策ガイドライン 2004

—人のエキノコックス症予防のために—」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/pdf/05-03.pdf>

本件のお問合せ先

公益社団法人

日本獣医師会事業担当：長野

TEL 03-3475-1601



事 務 連 絡
平成 26 年 4 月 8 日

公益社団法人日本獣医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について（情報提供）

今般、別紙のとおり愛知県で捕獲された犬においてエキノコックス症の感染が認められたとの報告がありましたので、情報提供します。

本事例について貴会会員に周知いただくとともに、「犬のエキノコックス症対策ガイドライン 2004—人のエキノコックス症予防のために—」の活用等につき、御周知の程、よろしく願いいたします。





事務連絡
平成 26 年 4 月 8 日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について（情報提供）

平素より、感染症対策に御協力いただきありがとうございます。

今般、別紙のとおり愛知県で捕獲された犬においてエキノコックス症の感染が認められたとの報告がありました。本事例を踏まえ、各自治体におかれましては、引き続き「犬のエキノコックス症対策ガイドライン 2004—一人のエキノコックス症予防のために—」の活用と関係機関への情報提供に努められるようお願いいたします。

参考資料

- 「エキノコックス症の犬」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/02-06.pdf>
- 「犬のエキノコックス症対策ガイドライン 2004 —一人のエキノコックス症予防のために—」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/pdf/05-03.pdf>

平成26年4月8日（火）
愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課
結核・感染症グループ
担当 奥田・今井 内線 3161、3244
（ダイヤルイン）052-954-6626
愛知県健康福祉部保健医療局生活衛生課
獣医衛生・動物愛護グループ
担当 小野塚・伊藤 内線 3256、3257
（ダイヤルイン）052-954-6298

犬におけるエキノコックス症の発生に伴う注意喚起について

平成26年4月4日付けで、半田保健所管内の動物病院の獣医師から、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき、**犬のエキノコックス症を診断した旨の届出がありました。**

エキノコックス症は、動物においては犬のみを対象とした感染症法に基づく獣医師の届出対象疾病で、人と動物に共通する感染症ですが、適切に予防すれば人への感染の危険性はありません。

1 エキノコックスについて

エキノコックスとは、もともと北海道のキタキツネにいる寄生虫の名前です。北海道では、主にキツネなどの動物間で広がっています。

2 エキノコックスに感染した犬について

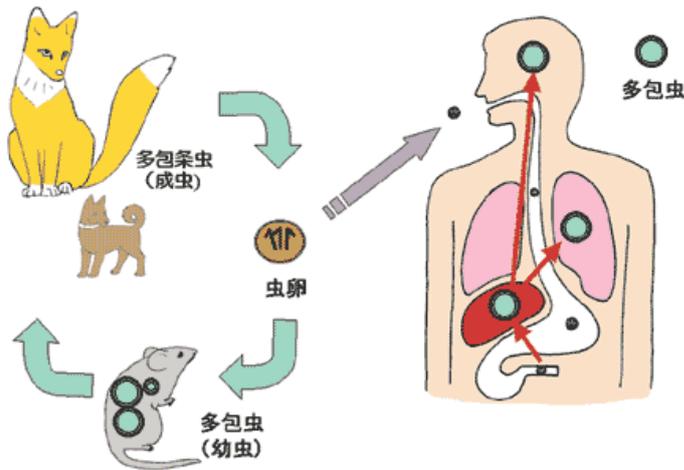
本年1月から3月に動物保護管理センター知多支所が捕獲した8頭の犬のうち、阿久比町内の市街地から離れた山野で捕獲した1頭（雑種、外観の症状なし）の糞便からエキノコックスが検出されました。

なお、エキノコックスが検出された犬は既に殺処分されており、当該犬からの人への感染防止対策は図られております。

3 エキノコックスの人への感染について

エキノコックスは、人と動物に共通する感染症で、日本では、毎年北海道で10人から20人程度の患者報告があります。エキノコックスに感染したキツネや犬の糞便により汚染された食物・水などを、人が偶発的に飲み込むことにより感染します。一般的に症状が現れるのは、感染してから10年前後です。

エキノコックスは、人の体の中では主に肝臓や肺に寄生し、肝不全などの障害を引き起こすことがあります。人から人への感染はありません。なお、適切に予防すれば人への感染を心配する必要はありません。



エキノкокスの感染経路（この図は、IDWR. 2001 年第 48 号より引用、一部改編）

4 予防方法

エキノкокス症の予防方法としては、野山に出かけ、帰ったときはよく手を洗うことや犬などとの接触や、虫卵に汚染した可能性のある水、山菜などの摂取を避けることです。

- ① 野山に出かけ、帰ったときはよく手を洗うこと。
- ② 衣服や靴についた泥はよく落とすこと。
- ③ 沢や川の生水は飲まないこと。
- ④ 山菜や野菜、果物等はよく洗ってから食べること。
- ⑤ 犬の放し飼いをしないこと。



5 今後の対応

当該犬が生息していた地域を中心に野犬の捕獲を行いながら、エキノкокスの感染状況を調査していきます。

6 相談先等

最寄りの保健所で相談を受け付けています。

飼っている犬について、エキノкокスの感染が心配な場合は、かかりつけの獣医師に御相談ください。

エキノкокスの詳しい情報は次のホームページでも入手できます。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/02.html>

国立感染症研究所 http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g3/k01_48/k01_48.html

北海道庁 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/0000contents/ekino/>